

# 春近発電所 大規模改修

## 01 はじめに

長野県企業局では、2050ゼロカーボンの実現に向けて、再生可能エネルギーの供給を拡大するため、新たな水力発電所の建設や既存発電所の大規模改修を進めています。

なかでも長野県南部の伊那市にある春近発電所は、戦後の経済復興に必要な電力を補うため、三峰川総合開発事業の一環として、昭和33年に完成した県営最大の発電所で、60余年にわたり発電を続けてまいりましたが、このたび老朽化した施設を大規模改修いたしました。

60年前の先人から引継ぎ、地域を支え続けたエネルギーを今後60年先の未来へ、そして未来の子供たちへとエネルギーをつなぎたい。そんな願いが春近発電所の大規模改修には込められています。



## 02 大規模改修の概要

	改修前	改修後	増減
最大出力	23,600kW	25,600kW	2,000kW増 (8.5%増)
年間発電電力量	93,600千kWh (約26,000世帯)	108,000千kWh (約30,000世帯)	14,400千kWh増 (15.4%増)

春近発電所の大規模改修は令和2年から調査・設計を開始して、令和4年11月に発電を停止、大規模改修を進め、令和7年4月から運転を再開しました。



## 03 新たな展示棟

【60年のバトンを未来の君へ ~エネルギーをつなぐ~】をテーマに企業局の歴史の展示や発電所の操作なども体験できるシミュレーター、春近発電所のしくみやエネルギー啓発など映像から楽しく学習できる設備を備えた総合学習室など、水力発電所の歴史や仕組み、そして再生可能エネルギーの大切さを未来へつなげる展示施設です。



展示棟の1階にある総合学習室では壁の3面を使った超ワイドスクリーンに投影する迫力のある映像をお楽しみいただけます。「INA(イナ)」が案内する「探査船イーナバード」に乗って地上から空中、水中へと春近発電所のいろいろなことを知る大冒険に出かけよう!



展示棟の2階には企業局の歴史の展示や、発電所の操作などを体験できるシミュレーター、実際に使われていた水車などを展示しています。



春近発電所の歴史をもっと知りたい方はここをクリック

※長野県営電気事業50周年記念誌(平成22年発行)から「三峰川総合開発事業への参画」を抜粋、春近発電所のほか美和ダムなどの詳しい歴史を知ることができます。発電所諸元など古い情報なのでご注意ください。

[CLICK HERE](#)